

CQI and IRCA オンライン試験 受験者向けガイド

※ 本文書は[英文版](#)が正であり、日本語版は参考として作成されています。これら両言語版の間に齟齬がある場合、英文版の内容が優先されます。

1. はじめに

CQI and IRCA オンライン試験 受験者向けガイドは、CQI and IRCA のオンライン試験を受験するために必要なすべての情報を提供することを目的に作成されています。本書には、CQIの規定と要求事項の詳細、および当日の試験を円滑に進めるためのアドバイスが記載されています。

CQI and IRCAのオンライン試験は、SARASと呼ばれるオンライン試験システムを通じて提供されます。SARASのポータルサイトは2つあり、1つは練習問題へのアクセス用、もう1つは本番の試験へのアクセス用です。ポータルサイトのリンクは以下のとおりです。

練習問題用 : <https://practice.quality.org/TNA/PracticePortal>

本番試験用 : <https://assessment.quality.org/TNA/TestPlayer/Login/Login.aspx>

練習問題と本番の試験のサイトにログインするには、ユーザー名とパスワードが必要です。CQIから、SARAS練習問題用ポータルへのログイン方法と、SARAS本番試験用ポータルへのログイン方法について示した2通のメールが研修機関に提供した受験者のメールアドレスへ届きます。該当のメールボックスにメールが届いていない場合は、迷惑メールフォルダをご確認ください。研修機関に勤務先のメールアドレスを提供していて、メールが届いていない場合は、勤務先のメールサーバーがメールをブロックしていないかどうか、勤務先のIT関連部署にも確認してください。コース終了までにメールが届かない場合は、研修機関までご連絡ください。

SARASにログインすると、受験者用ホームページにアクセスできるようになります。どちらのポータルにログインしているかによって、練習問題、もしくは、本番の試験の詳細が表示されます。表示されている内容が正しいかどうか、ご確認ください。情報に誤りがある場合は、研修機関にお問い合わせください。

2. 試験形式

すべての主任審査員コース、審査員コンバージョンコースのオンライン試験は、以下のような構成になっています。

主任審査員コース用の試験	
試験時間	1時間45分(全40問)
試験内容	各セクションの推奨する時間配分
<ul style="list-style-type: none"> セクション 1 : マネジメントシステム規格及びマネジメントシステムの概念と原則 	10分(6問)
<ul style="list-style-type: none"> セクション 2 : 審査/監査の概念と審査員/監査員の責任 	10分(6問)

<ul style="list-style-type: none"> • セクション 3： 審査/監査を計画する 	10分(6問)
<ul style="list-style-type: none"> • セクション 4： 審査/監査を実施する 	45分 (14問)
<ul style="list-style-type: none"> • セクション 5： 審査/監査の報告とクロージング 	30分 (8問)

審査員コンバージョンコース用の試験	
試験時間	1時間35分(全34問)
試験内容	各セクションの推奨する時間配分
<ul style="list-style-type: none"> • セクション 1： マネジメントシステム規格及びマネジメントシステムの概念と原則 	10分(6問)
<ul style="list-style-type: none"> • セクション 2： 審査/監査を計画する 	10分(6問)
<ul style="list-style-type: none"> • セクション 3： 審査/監査を実施する 	45分(14問)
<ul style="list-style-type: none"> • セクション 4： 審査/監査の報告とクロージング 	30分(8問)

試験問題は、下記回答方式が混在して出題されます。

- 多肢選択式 (正しい答えを1つ選択する)
- 複数回答可 (正しい答えを複数選択する)
- 空欄を埋める (正しい単語を文中の正しいボックスにドラッグ&ドロップする)
- マッチング (回答をドラッグ&ドロップして、項目を正しくマッチングさせる)
- 順序付け (回答をドラッグ&ドロップして正しい順序に並べる)

最後の2つのセクションは、審査/監査の実施、報告、クロージングに関連するシナリオ問題が出題されます。提示されたシナリオを確認し、正しい行動を選択することが求められます。

問題はすべてコンピューターで採点されます。問題に解答して「次へ」をクリックすると、自分の解答を確認したり変更したり、前に解答した問題へ移動したりすることはできません。これは、不正行為のリスクを減らすためのセキュリティ対策です。

試験はオープンブック方式ですので、トレーニングコースで取ったノートを参照することができます。ただし、インターネットを使って問題に対する答えを検索することは禁止されています。また、問題に解答する際に必要となりますので、受講コースに関連するISOマネジメントシステム要求事項の規格書を入手して準備をする必要があります。規格書は、紙媒体でも電子媒体でも構いません。

試験準備の対策用として、主任審査員コース用試験で24問の練習問題、審査員コンバージョンコース用試験で20問の練習問題が用意されています。本番のオンライン試験を受ける前に、練習問題を解いて、問題の種類やSARASの試験問題解答の仕組みや操作に慣れておくことを強くお勧めします。

コース最終日から30日以内に受験してください。研修機関がCQIにあなたの情報をアップロードする時期によって、練習問題へ早くアクセスできるようになる場合があります。

3. リモートでの試験監督

CQI and IRCAのオンライン試験は、遠隔試験監督ツール Easy Proctorを使用して、リモートで試験監督が行われます。このシステムでは下記を行います。

- (a) 写真付き身分証明書(写真付きID)と顔の画像の撮影
- (b) ウェブカメラとマイクを使って試験中の受講者の様子の録画
- (c) 試験中のコンピューター画面の録画

写真付き身分証明書の詳細については、以下の「オンライン試験規定」のセクションを参照してください。

試験を終了すると、遠隔試験監督ツール Easy Proctor は、写真付きIDと顔画像を比較して同一人物であることを確認し、予期せぬ音、動き、物、人などの異常がないか、試験セッションの録音を分析します。そして、異常が確認された場合、CQIに通知し、CQIがさらなる調査を実施します。

4. 合理的調整

身体障害や学習障害により受験に特別なサポートや時間が必要な場合、または宗教上の理由によりCQIの女性スタッフが試験監督のビデオ録画を確認する必要がある場合は、できるだけ早く（受験日よりだいぶ余裕を持って）事前に研修機関に通知してください。研修機関があなたに代わってCQIに、事前に、合理的調整の申請を提出できるように対処する必要があります。英語で受験される方で、英語が母国語でない場合（日本語で受験し、日本語が母国語でない場合も含みます）は、30分の試験の追加時間を申請することができます。病気などのやむを得ない理由により、予定されている30日以内に試験を受けられない場合、試験日程の延長を申請することができます。詳細については、「附属書1 CQIの合理的調整に関する方針」をご参照ください。

5. 機器及びシステムの要件

受験するには下記が必要です。

5.1 ウェブカメラとマイクが機能するコンピューターまたはノートパソコン(注意：スマートフォン、iPad/タブレット、タッチスクリーン、前面・背面カメラ付きの2in1/ハイブリッド型ノートパソコンは不可)。

- デジタル版の規格やコースで作成したノートにアクセスする必要がある場合、セカンドスクリーンを使用することができます。
- ノートパソコンを使用している場合は、外部モニターに接続してオンライン試験を最適化することをお勧めします

5.2 以下のシステム要件(最低性能値)を満たしていること

	Windowsの最小動作環境	Macの最小動作環境
ハードウェア		
使用可能なディスクの空き容量	15 GB	15 GB
ディスプレイの解像度	1280×1024で最適表示	1280×1024で最適表示
ネットワークアダプター	1Gbps ネットワークインターフェースカード (NICやLANカードとも呼ばれます)	1Gbps ネットワークインターフェースカード (NICやLANカードとも呼ばれます)
ソフトウェア		
オペレーティングシステム(OS)	Windows 8.1以上(Windows 10Sを除く)	Catalina(10.15.5～10.15.7) Mojave(10.14～10.14.6) Sierra(10.12～10.12.6) Big Sur(11.0のみ)
ブラウザ	Chromeバージョン85以上。推奨ブラウザはChromeです。 Firefoxバージョン85以上、Microsoft Edgeバージョン91以上も使用可能です。	Chrome バージョン85以上

5.3 継続的で安定したインターネット接続環境があること。携帯電話接続やVPNは、信頼性が低く不安定な

ため、適していません。有線接続が理想ですが、強力で安定したWi-Fi接続があれば十分です。

5.4 ビデオによるリモート試験監督システムを利用するために、以下の帯域が必要です。

カメラ解像度	必要な帯域幅
100万画素(1280*720)	5-7 Mbps
200万画素(1920*1080)	7-10Mbps
400万画素(2560*1440)	10-12Mbps

注：HDカメラの帯域幅要件は10-12 Mbpsの間で増加します。練習問題用ポータルサイトと本番の試験用ポータルサイトのランディングページには、以下のツールが用意されています。

- システムチェックツール
- カメラのテスト
- マイクのテスト

システムチェックツールには、オーディオとビデオストリーミングのテストへのリンクもあります。これらのツールを使って、お使いのノートパソコンやコンピューターが最小限の要件を満たしているか、ウェブカメラやマイクが正しく動作しているかを確認することを強くお勧めします。

練習問題用：<https://practice.quality.org/TNA/PracticePortal>

本番試験用：<https://assessment.quality.org/TNA/TestPlayer/Login/Login.aspx>

受験者が試験で使用するコンピューターもしくはノートパソコンでテストをしてください。業務で使用している仕事用のノートパソコンがIT要件を満たしているからといって、個人用のノートパソコンも満たしているであろうと思込まないようにしてください。

インターネット接続の状況を把握するために、受験者の受験予定日とほぼ同じ時間帯にシステムテストを実行するとよいでしょう。例えば、受験者が夜10時にシステムテストを行い、午後2時に本番の試験を受ける場合、利用できる帯域はかなり違って来るかもしれません。

6. オンライン試験規定

以下の規定をよくお読みください。試験を開始する前に、SARAS(オンライン試験用のセキュアウェブブラウザ)は、受験者にCQIのオンライン試験に関する規定を読み、理解し、承諾したことを確認します。受験者が試験受験を辞

退した場合、試験を受けることができなくなります。

写真付き身分証明書

試験開始時に、受験者は、受験者の本人確認を行うため、写真付き身分証明書の提示をお願いしています。以下の公的機関発行の身分証明書のいずれかを提示する必要があります。

- 現在有効なパスポート
- 現在の写真付き運転免許証
- 有効な写真付きマイナンバーカード

受験者が上記のいずれも持っていない場合は、代替手段を検討するため、できるだけ早く、CQIまで[ヘルプリクエストフォーム](#)を使用してご連絡ください。

有効な写真付き身分証明書を提示しない受験者は、失格となる場合があります。

試験条件

以下の条件を満たしていれば、どのような場所でも受験することができます。

- **静かな場所：**
受験者が他の人や、建築作業、交通騒音などの外部からの騒音に邪魔されることのない場所。
- **十分な照明がある場所：**
窓の前など明るすぎるところに座らないでください。逆光の場合は、シェードやカーテンを引いたり、背後の照明を消したりしてください。
- **プライベートな空間：**
コンピュータやモニターを他の人に見られないようにしてください。
- **電源コンセントへのアクセスがある場所：**
試験中にバッテリー切れにならないよう、コンピュータに接続できるようにしてください。

受験者の行動規範

試験中は常にプロフェッショナルに、かつ誠実に行動しなければなりません。

- 試験中、顔はパソコンのカメラに対して見える状態のままである必要があります。ヘッドスカーフを着用する場合は、耳を見せる必要があります。パーカー、帽子、サングラスの着用は禁止されて

います。

- Webカメラとマイクは、試験中も電源を入れたままにしておく必要があります。ウェブカメラを使用する際は、カメラ画像の中心に頭を置き、カメラの正面を向き、ウェブカメラが顔の側面、上、下に向いていないことを確認してください。
- 試験中は、黙って静かにしていなければなりません
- 10分間の休憩が認められています。試験監督システム上で正式な休憩として記録されるように、「休憩を取る」ボタンを使用する必要があります。それ以外の時間に退室した場合、試験監督システムは受験者の不在状態を記録し、さらなる調査のために CQI に通知します。
- 試験を受ける部屋には食べ物を持ち込まないでください。飲み物を持参することは可能ですが、万一液体がPCにこぼれるとPCの機能が低下し、試験を完了することができなくなる恐れがありますので、自己責任でお願いします。
- 喫煙やパイプ(吸引)は禁止されています。
- 試験を受ける部屋の内外を問わず、誰とも直接または電子的にコミュニケーションを取ろうとしてはいけません。
- 許可されていない電子機器を、試験を受ける部屋に持ち込まないでください。この電子機器には、携帯電話、iPad/タブレット、スマートウォッチ、ヘッドフォン、イヤホンなどが含まれます。電子機器は、試験で使用する機器のみ使用可能です。

受験者はCQIの知的財産権を侵害する可能性のある行為、および／またはCQIオンライン試験の機密性と完全性を損なう可能性のある行為を行ってはいけません。不正行為の例としては、以下のようなものが挙げられますが、不正行為はこれらに限定されるものではありません。

- いかなる形式または手段によっても、試験問題、解答またはコンテンツへのアクセスを提供、開示、配布、コピー、写真撮影、記録、ダウンロード、送信すること。
- 試験中に身元を偽ったり、他の人になりすましたりすること。
- 受験中に、携帯電話、電子機器、スマートウォッチ、ヘッドフォン、イヤホンなど、許可されていないものを所持していること。
- 試験中に他の人の試験を手伝ったり、オンラインまたは直接支援を受けたりすること
- インターネットを使って問題に対する答えを調べること。

- ウェブカメラやマイクをオフにすること、顔を覆うもので顔を隠すこと、ウェブカメラの位置を変えることなどにより、常に顔がはっきり映らないようにすること
- あらゆる方向を絶えず見まわしたり、手首を見たりすること

CQIは、オンライン試験規定に対する違反の可能性がある場合、不正行為および不正管理に関するポリシーに基づき、調査を実施します。受験者が不正行為を行ったことが判明した場合、CQIは、該当の受験者の試験結果を無効とし、一定期間または無期限で今後のCQI試験の受験資格を剥奪する権利を有します。

7. 試験結果

試験が完了されると、CQIは試験監督システムの記録からの所見を確認します。問題がなければその合否結果は、英国の10営業日以内に受験者がコースを受講した研修機関によりダウンロードできるようになります。試験を受けてから、14営業日以内に結果が届かない場合は、研修機関にお問い合わせください。

8. 特別な配慮

試験受験中または受験直前に、親戚の死亡、病気など、試験の受験が、受験者がコントロールできない事象によって試験のパフォーマンスに悪影響を及ぼしたと思われる場合は、特別な配慮の申請を行うことができます。詳細は、附属書2 CQIの特別な配慮に関する方針を参照してください。

9. 異議申し立て

異議申し立てでは、正しい方針とプロセスが遵守され、公正に適用されているかどうかを検討します。以下の事項に関して、異議申し立てをすることができます。

- 「不合格」判定に対する異議申し立て
- 不正行為の判定に対する異議申し立て
- 合理的調整または特別な配慮に関連する決定に対する異議申し立て

詳細については、附属書3 CQI 異議申し立て方針 をご参照ください。

10. 試験チェックリスト

試験を受ける少なくとも3日前まで

- ✓ 適切なIT機器とシステムがあることを確認する

- ✓ ウェブカメラとマイクが正常に動作していることを確認する
- ✓ SARASにログインし、ユーザー名とパスワードが正しく設定されているか、また正しい試験が登録されているかを確認する
- ✓ 選択した試験を受験する場所が適切であるか確認する
- ✓ 必要な写真付き身分証明書とISO規格を確認する
- ✓ 同僚、家族、友人などに受験する日時を伝え、試験中は中断できないこと、メールやメッセージ、電話などに対応できないことを伝える
- ✓ 練習問題を解く

試験当日

- ✓ システムチェックを再度行い、Webカメラとマイクが正常に動作していることを確認する
- ✓ 写真付き身分証明書とISO規格があることを確認する
- ✓ ポップアップブロックを解除して、受験用のソフトウェアを起動できるようにする
- ✓ 可能であれば、自動更新のアプリケーションをオフにする
- ✓ フリーウェアのアンチウイルスツールを使用している場合は、それらをオフにする。試験がウイルス対策ツールによってブロックされている場合は、ウイルス対策設定に進み、受験用ソフトウェアの実行を有効にしてください
- ✓ 静かで明るい環境で受験できることを確認する
- ✓ スマートフォン、スマートウォッチ、カメラ、タブレット、イヤホン、イヤポッドなどの電気機器を試験環境から取り除く。
- ✓ 試験中に邪魔されたくないことを周囲の人に伝える
- ✓ 飲み物を飲む

準備ができれば、SARAS の受験者用ホームページにログインし、「試験を開始する」をクリックします。

SARASで、写真付き身分証明書をWebカメラにかざして撮影をします。身分証明書の写真は、氏名と顔写真がはっきり写っていて、画面の赤い枠内に収まっていなければなりません。SARASに提出する前に撮影した写真付き身分証明書の画像を確認する機会がありますので、必要な情報がすべて撮影されていることを確認してください。次

にSARASで、あなたの顔写真を撮影します。帽子や顔面マスクなどで頭や顔が覆われていないこと、カメラを直接見ていること、画面上の楕円形の赤枠内に顔が収まっていることを確認してください。

両方の画像の質に問題がなければ、写真を投稿してください。その後、試験の進め方や時間配分の説明が表示されます。また、CQIのオンライン試験規定への同意が求められます。「承諾する」をクリックすると、試験を開始することができます。

試験中に何か問題が発生した場合は、CQIまで[ヘルプクエスツォーム](#)を使用してご連絡ください。このヘルプクエスツォームは、日本時間の9-17時の間にのみ受付順に確認されます。

ご健闘をお祈りしています。また、試験の最後には「受験者向け試験に関するアンケート」がございますのでご協力よろしくおねがいします。

附属書1 CQI and IRCA オンライン試験 合理的調整に関する方針

合理的調整とは、試験の際に受講者が試験の際に実質的に不利になるような障害や困難の影響を軽減するための措置のことです。合理的調整の例としては、以下のようなものがあります。

- 試験時間の延長 - 例えば、受験者が英語で試験を受ける場合、英語が母国語でない、または学習障害がある場合、CQIは試験時間を30分延長することができます。
- 試験中の音声読み上げソフトなどの支援提供 - CQIのオンライン試験システムは、NVDAとJAWSスクリーンリーダーソフトウェアをサポートしています。
- 女性のイスラム教徒の受験者への対応 - 身分証明書の確認と試験監督の記録を確認するため、女性の試験監督者を手配することができます。
- 試験日程の延長 - 例えば、受験者が病気のために30日間の試験期間内に試験を受けることができない場合などに試験日程を延長することができます。

合理的調整は、非合理的であると判断される費用や時間枠を伴う場合、または試験のセキュリティもしくは試験の完全性に影響を与える場合には承認されません。承認がされない理由は、申請された調整が「合理的」ではないと判断されるためです。合理的調整は、同じ試験または類似の試験を受ける他の受験者と比較して、該当の受験者に不当な優位性を与えてはなりません。

コース開始前に、合理的調整の必要性について研修機関に相談する必要があります。合理的調整の理由によっては、研修機関が受験者の要求が有効であることを確認するために、裏付けとなる医学的証拠の提出を求める場合があります。

英語で試験を受ける場合、英語が母国語でないことを理由に試験時間を延長する必要がある場合は、研修機関が受験者の情報をCQIに送付する際にその旨を通知します。その他の合理的調整の要請については、研修機関が「[CQI and IRCA オンライン試験：合理的調整申請フォーム](#)」に記入し、training.japan@irca.orgへ電子メールで送信します。

CQIは、合理的調整の申請を確認し、英国の2営業日以内に対処します。CQIは、合理的調整が承認されたか、また、どのような措置がとられたか、研修機関にメールで通知します。その後、研修機関から合理的調整が承認されたかの判定が通知されます。

試験時間の延長が要求された場合、SARAS 試験ポータルサイトの受験者用ホームページに表示される試験スケジュールで試験時間が延長されます。延長された時間が表示されない場合は、training.japan@irca.org までご連絡ください。

合理的調整の要求に対するCQIの判定に不満がある場合は、異議申し立てを行う権利があります(CQI and IRCA オンライン試験：異議申し立てに関する方針を参照)。CQIは、すべての合理的調整の申請とその結果の記録を5年間保存します。

附属書2 CQI and IRCAのオンライン試験 特別な配慮に関する方針

受験者は、試験中のパフォーマンスが著しく影響を受けたと思われる場合、CQI に特別な配慮を申請することができます。

- 予期せぬ、または一時的な病気、けが、その他の体調不良。
- 試験直前の死別や試験中の重大な妨害など、自分ではコントロールが不可能な出来事

以下の場合、特別な配慮はいたしません。

- 試験当日近くに発生しなかった予期しないイベント
- 受験者自身の行為に起因する問題(例：受講者が CQI のオンライン試験の要求事項に準拠していないことによるハードウェア、ソフトウェア、インターネット関連の問題など)
- 受験者が試験の準備を十分に行っていないことに起因する問題(コースのすべてに参加していない、またはすべての要件を完了していないなど)

加えて、合理的調整を申請し、承認された受験者は、合理的調整で申請した同様の状況について特別な配慮を受ける権利はありません。

特別な配慮は、受験者が直面する状況や困難さの度合いに応じて、受験者の試験点数に対する試験後の小さな調整や無料の再試験のオファーが含まれる場合があります。無料の再試験は、CQI のオンライン試験システムに起因する重大な技術的問題により、受験者の成績が損なわれた場合にのみ提供されるものです。受験者のコンピューターやノートパソコン等の機器の故障やインターネットに関連する問題によるものは考慮されません。

特別な配慮は、該当する受験者に不当な優位性を与えてはならず、また、受験者の評価に関して利害関係者に誤解を与えるものであってはなりません。受験者の成績は、試験における達成度を反映している必要があり、受験者の潜在的な能力を反映しているわけではありません。調整幅は、試験で獲得できる総合計点の5%を上限とします。これは、CQIの試験の水準と完全性を守るためです。

不合格になった方で、上記のような理由で試験の成績に影響があったと考える受験者は、特別な配慮を申請することができます。受験者は、申請を提出する前に研修機関と申請について話し合うことを強くお勧めします。低い点数を取った受験者は、不合格から合格に移行する程度までには点数を調整することはできず、無料の再試験の対象にならない可能性があります。

特別な配慮を申請することを決定した場合、「[CQI and IRCA オンライン試験 特別な配慮申請フォーム](#)」(CQIのウェブサイトおよび研修機関から入手可能)を記入し、合否結果が研修機関から提供されてから14日以内に、記入

したフォームと証拠書類を CQIまで[ヘルプリクエストフォーム](#)を使用してください。

CQIはメールを確認し、英国においての10営業日以内に特別な配慮の申請に対処します。CQIは、特別な配慮の申請が受け入れられたか、どのような措置がとられたかを、受験者と研修機関にメールで通知します。判定に納得がいけない場合は、異議申し立てをする権利があります(附属書 3 CQI and IRCA オンライン試験: 異議申し立て方針を参照)。

附属書3 CQI and IRCA オンライン試験 異議申し立て方針

異議申し立てとは、決定事項の見直しを求める正式な申請です。異議申し立ては、正しい方針とプロセスが遵守され、公正に適用されているかどうかを検討します。

受験者は、以下に関して CQI に異議申し立てをすることができます。

1. 「不合格」判定に対する異議申し立て
2. 不正行為の判定に対する異議申し立て
3. 合理的調整または特別な配慮に関連する決定に対する異議申し立て

「不合格」判定に対する異議申し立て

受験者が次のことを考慮する場合、異議申し立てを申請することができます。

- 採点・合否決定のプロセスに関連してエラーが発生した場合
- 1つまたは複数の問題の表現または翻訳に問題があり、それが受験者の試験結果に悪影響を及ぼしている場合

注意事項：インターネット接続の問題、PC/ノートパソコンのハードウェアやソフトウェアの問題による「不合格」の結果に対する異議申し立ては受け付けませんので、ご注意ください。受験者は、試験中に自身のパフォーマンスに影響を与えたと感じる技術的な問題が発生した場合は、特別な配慮申請のプロセスに従う必要があります。

不正行為の判定に対する異議申し立て

不正行為とは、「評価プロセス、CQI and IRCA 認定コースの完全性、結果または証書の有効性、CQI 自体や CQI and IRCA 認定コースの評判および信頼性を損なう、または損なうおそれのある故意の行為、怠慢、不履行、その他の行為」を意味します。

オンライン試験に関連する受験者の不正行為の例としては、以下のようなものがあります。

- 試験の前および/または試験中に、試験問題や解答などの機密資料を所持していること
- いかなる形式または手段によって、試験問題、解答またはコンテンツへのアクセスを、提供、開示、配布、コピー、写真撮影、記録、ダウンロード、または送信すること
- 試験中に受験者本人を偽ったり、他の人になりすましたりすること
- 他の誰かが自分の代わりに試験を受けるように手配すること
- 試験中に他の人の試験を手伝ったり、オンラインまたは直接支援を受けたりすること

- 他の受験者の解答をコピーすること、または別の受験者が自分の試験の解答をコピーする行為を故意に許可すること。
- 試験中の不適切な行動(例：攻撃的な言葉を使うなど)
- 携帯電話、電子機器、スマートウォッチ、ヘッドフォン、イヤホンなど、許可されていないものを試験中に所持していること。受験者が使用するか否かに関わらず、例に挙げているような機器の所持は不正行為とみなされます
- ウェブカメラやマイクをオフにすること、顔を覆うもので顔を隠すこと、ウェブカメラの位置を変えることなどにより、常に顔がはっきり映らないようにすること

不正行為は、受験者の試験監督用の録画の分析中、あるいは試験の前後で CQI が受け取った情報により特定される場合があります。不正行為を行っているとは判定を受けたすべての受験者は、試験結果の合否にかかわらず、「失格」の結果を受け、不正行為の詳細が提供されます。CQI は、受験者から一定期間または無期限で今後の CQI 試験の受験資格を剥奪する権利を留保します。

合理的調整または特別な配慮の決定に対する不服申し立て

CQI は、一部の受験者が、以下の理由により習得を実証することができない可能性があることを認識しています。

- 永久的または長期的な障害、学習困難、または病状
- 試験直前または試験時における、一時的な障害、病気または体調不良
- 試験時または試験中の状況

詳細については、CQIの合理的調整および特別な配慮に関する方針をご覧ください。受験者は、これらの申請に関する CQI の決定に対して異議を申し立てる権利を有します。

異議申し立てのプロセス

異議申し立てをする場合は、提出する前に研修機関と相談することを強くお勧めします。異議申し立てを行うことを決定した場合、「[CQI and IRCA オンライン試験 異議申し立て申請フォーム](#)」(CQIのウェブサイトおよび研修機関から入手可能) に必要事項を記入する必要があります。試験結果を研修機関より受領したとき、または、合理的調整もしくは特別な配慮の申請の判定をCQIから受け取ってから 英国の14日以内に、異議申し立て申請フォームと証拠書類をCQIまで[ヘルプリクエストフォーム](#)を使用してご連絡ください。

CQIは、電子メールを確認し、下記期限内に受領した異議申し立ての対処をします。

- 合理的調整の申請に関する申し立て - 英国の2営業日以内
- 特別な配慮の申請に関する申し立て - 英国の10営業日以内

- 「不合格」結果に関する申し立て - 英国の10営業日以内
- 不正行為の判定に関する申し立て - 英国の10営業日以内

異議申し立ての判定は、該当の案件に対して過去に関与したことがなく、決定に対して個人的な利害関係のないCQIのシニアスタッフがを行います。

異議申し立ての調査担当者は、もともとの決定で使用された証拠と、受験者が提出した追加証拠を再調査します。CQIは、決定に至る過程において、一貫して適切かつ公正なプロセスが適用されたかを検討します。不正行為に関する異議申し立てについては、不正行為の判定を裏付ける十分な証拠があったかどうか、判例や受験者から提供された追加情報に照らしてその判定がいかに適切であったか、また、起こりうる確率とのバランスに基づいて評価する者が検討することになります。

CQIは、受験者および研修機関に、異議申し立ての判定、及びどのようなフォローアップの措置が取られたかをメールで通知します。尚、これ以上の異議申し立ては受理できません。